

問1 日本の都道府県の統計において、長崎県は群馬県と比較すると、面積は約1.5倍小さく、児童数も約3万人少ない状況にあります。しかし、小学校の数に関しては、群馬県の316校に対し、長崎県は343校と上回っています。長崎県において、面積や児童数が少ないにもかかわらず、小学校の数が多くなっている理由として最も適切な説明を選んでください。（2018年 岩手県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 山地が多いため、一つの学校に集まることが困難で、小さな集落ごとに学校を建設しているから。 | 2. 複雑な海岸線や多くの離島を抱えており、島々に住む児童のために学校を分散して配置する必要があるから。 | 3. 人口密度が全国的に見ても非常に高く、都市部に多くの小学校を設置しなければならないから。 | 4. 歴史的な背景から私立小学校の数が非常に多く、公立小学校と合わせて全体の数を押し上げているから |
|---|--|--|---|

問2 九州地方における各県の製造品出荷額等の統計において、福岡県の出荷額は約8.5兆円、大分県は約4.6兆円、九州全体では約23兆円となっています。これらの数値から読み取れる九州地方の工業の特徴として適切なものを次の中から選びなさい。（2018年 香川公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 福岡県は、九州地方全体の製造品出荷額等のうち3分の1以上を占めており、大分県と合わせた上位2県で九州全体の半数を超えている。 | 2. 宮崎県は、広大な農地を活かした食料品工業が非常に盛んであるため、九州各県の中で製造品出荷額等が最も多い。 | 3. 長崎県は、古くからの造船業が集積しているため、半導体関連の工場が多い熊本県よりも製造品出荷額等が多くなっている。 | 4. 九州地方の製造品出荷額等の合計は、全国合計の約307兆円に対して20%以上の割合を占めており、中京工業地帯を上回る規模である。 |
|---|---|---|--|

問3 鹿児島県などの地形図に見られる、標高の低い谷状の土地の利用について述べた文として、正しいものを次の中から選びなさい。（2020年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。 | 2. 傾斜が急で水の確保が難しいため、主に森林として利用される。 | 3. 平坦で広大な面積を確保しやすいため、大規模な工業団地が造成される。 | 4. 土壌の通気性を確保するため、水田ではなく果樹園として利用される。 |
|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|

問4 日本国内にあるアメリカ軍の専用施設の面積のうち、約70パーセントが集中して置かれている都道府県はどこですか。（2023年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|---------|--------|---------|
| 1. 沖縄県 | 2. 鹿児島県 | 3. 長崎県 | 4. 神奈川県 |
|--------|---------|--------|---------|

問5 九州地方に位置し、人口が約163.7万人である県の農業の特色について述べます。この県は、農業産出額が約4435億円と九州の中でも非常に高く、その内訳を見ると畜産が約2837億円と、産出額全体の半分以上を占めています。このような産業構造を持つ県はどこですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 沖縄県 | 3. 鳥取県 | 4. 宮崎県 |
|---------|--------|--------|--------|

問6 鹿児島県から宮崎県にかけての九州南部には、過去の巨大な火山活動によって噴出された火山灰や軽石などが厚く積み重なってきた広大な台地が広がっています。この地形の名称として正しいものを選択してください。（2026年 栃木公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|---------|--------|----------|
| 1. シラス台地 | 2. カルデラ | 3. 扇状地 | 4. リアス海岸 |
|----------|---------|--------|----------|

問7 鹿児島県の南方に位置し、人口約3万人のある島に関する統計資料において、「日本最大のロケット打ち上げ施設（宇宙センター）があり、宇宙開発関連の観光が行われている」「農業ではサトウキビの生産が盛んである」と説明されている島はどこですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1. 屋久島 | 2. 種子島 | 3. 奄美大島 | 4. 吉岐島 |
|--------|--------|---------|--------|

問8 日本の諸地域の気候を統計資料から判別する場合、宮崎県（宮崎市）のデータに該当する特徴的な数値の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 1月の平均気温が約10度と高く、さらに6月と9月に降水量の大きなピークが見られる。 | 2. 1月の平均気温が約5度であり、12月から2月にかけての降水量が1年で最も多い。 | 3. 8月の平均気温は約28度まで上がるが、年間の降水量は1200mm程度と非常に少ない。 | 4. 1月の平均気温が氷点下となり、年間の降水量は季節による大きな変動がなく一定である。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 複雑な海岸線や多くの離島を抱えており、島々に住む児童のために学校を分散して配置する必要があるから。	長崎県は日本で最も多くの島（離島）を持つ県であり、海岸線の長さも北海道に次いで2位となるほど複雑です。義務教育においては、児童の通学の負担を考慮し、居住地域ごとに学校を配置する必要があります。そのため、人口や面積の規模が他の県より小さくても、各離島に学校を維持しなければならないことから、結果として小学校の数が多くなるという地理的な特色があります。
問2	答え 1 福岡県は、九州地方全体の製造品出荷額等のうち3分の1以上を占めており、大分県と合わせた上位2県で九州全体の半数を超えている。	九州地方の製造品出荷額等のデータ（2014年）に基づくと、九州全体の約23兆円のうち、福岡県が約37%（約8.5兆円）、大分県が約20%（約4.6兆円）を占めています。この2県を合わせると約57%となり、九州全体の半分以上の出荷額を2県で担っていることがわかります。他の県については、熊本県（約2.5兆円）が長崎県（約1.6兆円）や宮崎県（約1.5兆円）を上回っており、九州全体の全国に占める割合は約7.5%にとどまります。
問3	答え 1 周辺に比べて水が得やすいため、水田として利用されることが多い。	低地や谷状の地形は、河川からの取水や周囲からの湧水が得やすく、水利条件が良いのが特徴です。そのため、地図記号においても「水田」を示す記号が描かれることが一般的です。一方で、森林や工業団地などは、排水条件や地盤の安定性、広大な用地確保の観点から別の場所が選ばれる傾向にあります。
問4	答え 1 沖縄県	日本の国土面積に占める割合は約0.6%にすぎないにもかかわらず、在日米軍専用施設の多くがこの県に集中しています。これは第二次世界大戦後のアメリカによる統治や、地理的な重要性が背景にあります。現在も騒音問題や事故、基地負担の軽減が重要な政治課題となっています。
問5	答え 1 鹿児島県	九州地方南部に位置するこの県は、火山噴出物からなるシラス台地が広く分布しています。シラス台地は水持ちが悪く稲作には不向きであったため、広大な土地を活かした畑作や畜産業が発展しました。現在では、肉用牛、豚、ブロイラー（鶏）の飼育頭数がいずれも全国トップクラスであり、農業産出額において畜産が占める割合が極めて高いことが特徴です。
問6	答え 1 シラス台地	九州南部、特に鹿児島県の大部分を覆っているこの地形は、約3万年前の火砕流堆積物などが起源となっています。これらは「シラス」と呼ばれる非常に細かい火山灰や軽石の層で構成されており、特有の台地を形成しています。カルデラは火山の噴火によって形成された大きな窪地を指し、扇状地は川が山地から平地へ出る場所に土砂が堆積してできた地形であるため、形成過程が異なります。
問7	答え 2 種子島	鹿児島県の南方に位置する種子島は、島全域に平坦な丘陵が広がっているのが特徴です。この地形を活かして、日本最大のロケット打ち上げ施設である種子島宇宙センターが設置されており、宇宙開発は島の重要な観光資源にもなっています。また、温暖な気候を利用したサトウキビ栽培も島の主要な産業の一つです。
問8	答え 1 1月の平均気温が約10度と高く、さらに6月と9月に降水量の大きなピークが見られる。	宮崎市の気候データでは、低緯度であることと暖流の影響により、冬場の気温が他地域に比べて高いことが最大の特徴です。降水量の推移については、初夏の梅雨（6月）と秋の台風（9月）の時期に明確な山（ピーク）が形成され、年間の合計降水量も全国的に見て高い水準になります。選択肢にある「冬の降水量が1年で最も多い」ものは日本海側の気候、「年間の降水量が1200mm程度と非常に少ない」ものは降水が遮られる瀬戸内側の気候の特徴を示しています。